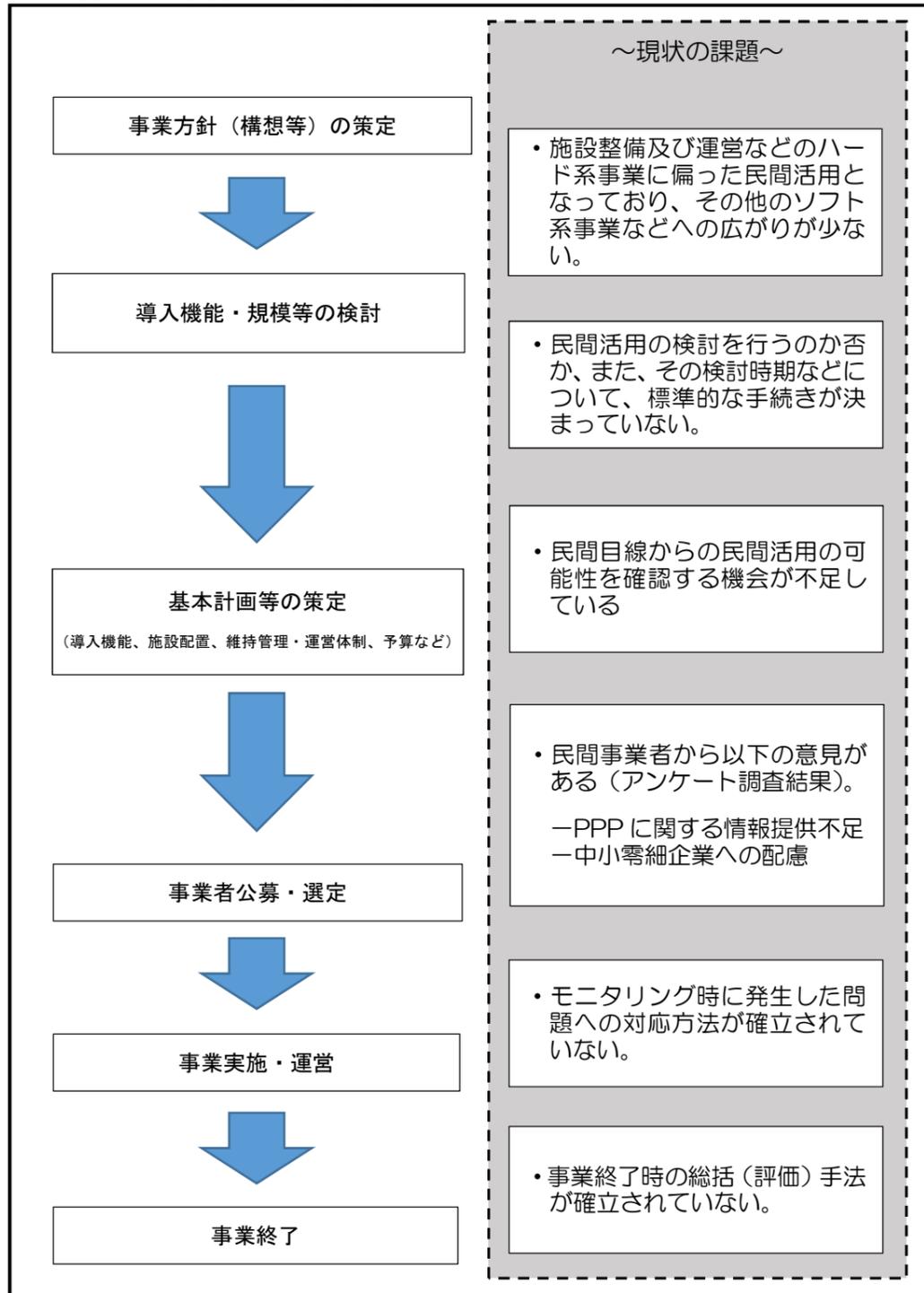
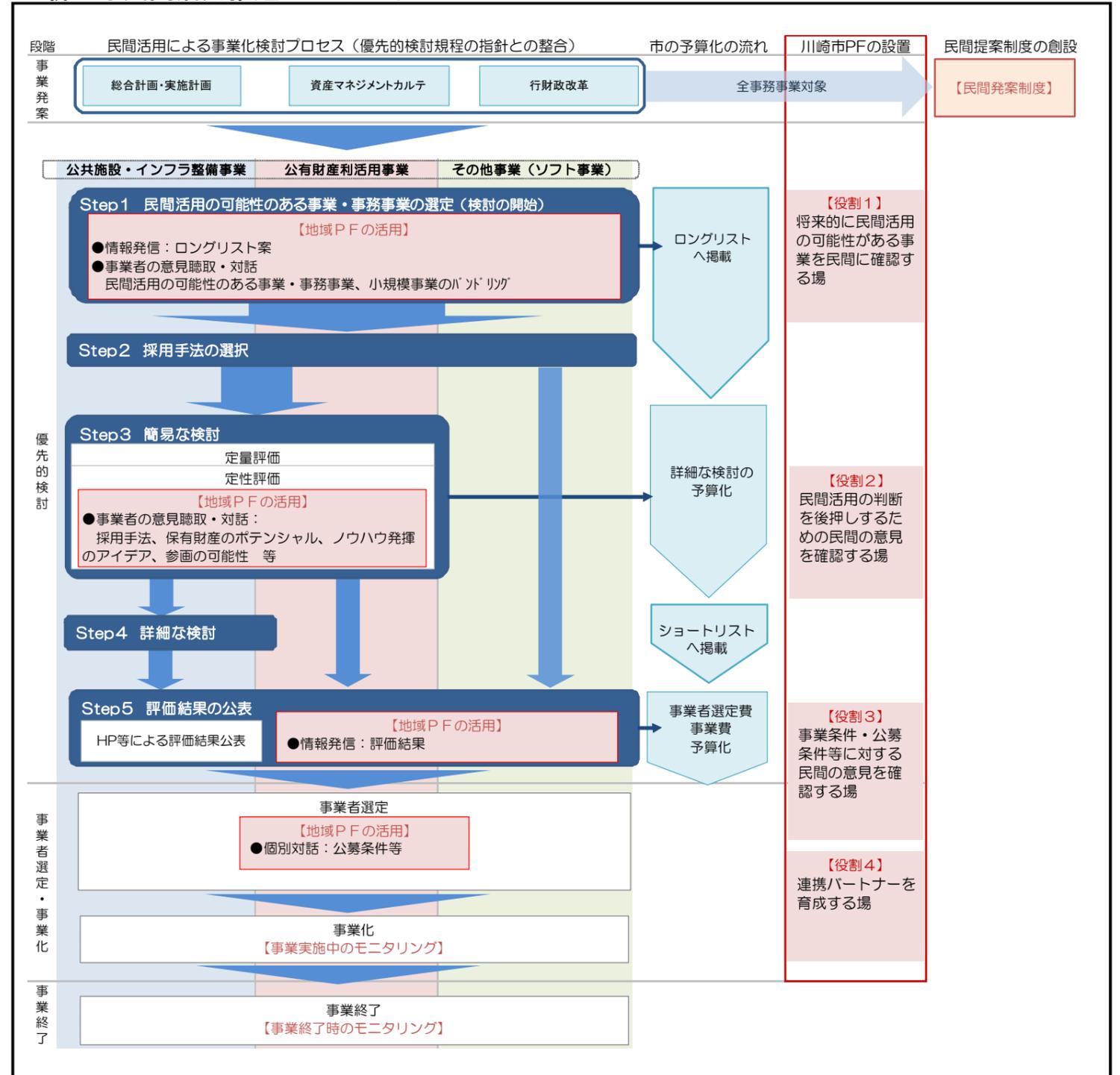


現行の事業実施プロセスにおいては、民間活用の推進を行う上での課題（民間活用検討ステップが不明確であることなど）があり、今後、更なる民間活用を推進していくためには、民間活用の検討プロセスと政策決定の流れの関係性を明確化するほか、民間活用に向けた各取組（優先的検討、PPPプラットフォーム、新たなモニタリングなど）を有機的に連携させるしくみを再構築する必要がある

＜現行の民間活用事業実施プロセス＞



＜新たな民間活用推進のしくみイメージ＞



# 令和元年度 川崎市民間活用推進委員会での審議事項（案）

## 審議事項① 連携の対象の範囲と公民連携手法の整理

- 対象とする事業分野の範囲
- 事業手法選定の考え方（事業手法の特徴と適用事業）

## 審議事項② 優先的検討規程

- 優先的検討の対象事業
- 基本計画等の計画策定の流れとの整合を意識した検討手続と評価方法
- 民間との対話の工程の組み入れ

## 審議事項③ PPPプラットフォームの設置と効果的な運用

- PPPプラットフォーム設置に向けた川崎市の取組（PFに期待する役割）

## 審議事項④ 市内事業者の民間活用事業への参加促進に係る方策

- 効果的な情報発信や多様な事業者とのJV組成の機会などの環境整備

## 審議事項⑤ 民間提案制度の創設

- 対象事業と民間提案制度の形態について
- 審査対象（提案受付）の要件について
- 採用の可否判断に係る評価の視点について
- 提案事業者（採用提案）の取扱いについて
  - ・知的財産権を踏まえた公募または随意契約の考え方について
  - ・提案事業者へのインセンティブ付与の考え方について

## 審議事項⑥ モニタリング方法・体制の再構築

- モニタリング対象の考え方
- サービス水準及び継続性確保の観点からのモニタリングの視点と手法
- 問題発生時における対応の考え方
- 民間活用担当と各事業所管課との連携のあり方と庁内におけるノウハウ蓄積の方法
- 事業終了時の総括と次期事業の手法検討のあり方

## 審議事項⑦ 有機的な連携による民間活用の推進

- 各取組の連携を踏まえた詳細検討プロセスの全体像（行政内部手続きを含む）

※その他、委員会での提案事項についても審議を行う

